

# 彩の合気

編集発行  
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO. 12

## ■ 第19回・連盟合同講習会

### 一過去最多の194名猛暑の稽古

去る7月1日(日)、所沢市市民武道館に道主植芝守央先生をお招きし、第19回合同講習会を開催することができました。主管道場所沢市合気道連盟の大動員もあってか、200畳の館内を埋め尽くす程の参加者の顔・顔。

講習会は、所沢市合気道連盟・山上三一会長の「道主をお迎えしての講習会を心待ちにしておりました。幸い冷房も効いております。どうか、有意義な稽古をしてください」と、叱咤激励を交えた開会の辞に始まり、続いて、連盟を代表して市塚副会長、武道館館長・小峯正一氏より、挨拶を頂き、早速実技指導に。

「みなさん、足が痺れている事と思います、稽古を通じてお話しします」と緊張した雰囲気をはぐすかのような、道主の軽妙な第一声で準備運動開始。

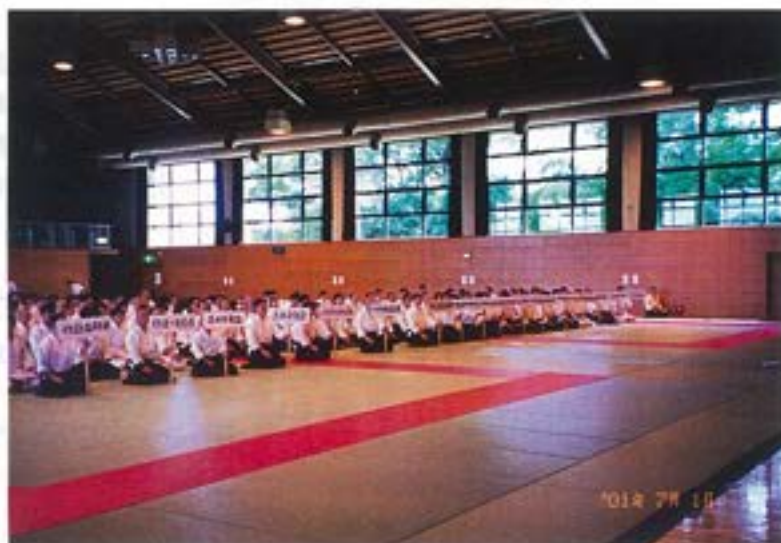
入身投げ、一教、小手返しを正面打ちと両手・片手取りで示されながら、特に何れの技にも共通する体捌きの重要性が強調された。更に講習は、座技二教から立技両手・片手取りの二教へと進まれ、横面打ち四方投げ、両手・片手取りの四方投げ、最後は座技呼吸法で締めくくられました。

この間、道主は片時も休まれず稽古者の中で指導され、自ら大汗を流される。外は、因みに38度の酷暑。だが、冷房設備の恩恵にも浴し、講習中ギブアップした方はいなかった筈？

2時間に及ぶ講習会は、道主の熱心な指導と、それに応えるべく最後まで懸命に稽古した参加者各位により充実した内容となった。その後、場所を移して開催された直会にも、69名の方が集合。

川路理事長の「素晴らしい施設で、思う存分稽古できたことに心から感謝いたします」の挨拶で始まり、道主からは来年への「益々の発展」願う言葉を頂き、入間幸武館館長中島正吉氏の乾杯で和やかな懇親会へと。

参加各団体の活動内容の紹介に耳を傾け、また来年度主管道場・入間幸武館関戸師範の心強い決意表明に拍手を送り、瞬く間に2時間が過ぎ去った。



(県下19団体194名が整列)



(道主に集る参加者の熱い視線)

盛大に「武道優良団体」受賞・記念祝賀会



(好々爺か水戸黄門？中島相談役)



(重厚な歴史を語る石井相談役)

年明け早々の1月8日(成人の日)、日本武道協議会より「平成12年度・武道優良団体」として表彰された事を記念して、第19会定期総会が開催された6月3日(日)の夕刻より、浦和ワシントンホテルに於いて記念祝賀会が盛大に開催された。

司会の向笠理事(合気道と光支部)の開会の辞に続いて、役員を代表して市塚副会長より、長年に亘って当連盟を支えてこられた石井知章・中島正吉両相談役への労いと謝辞が述べられ、川路理事長からは今後益々発展させるべく力のこもった決意表明有り。

連盟発足以来、会長の重職を担って頂いている土屋義彦埼玉県知事から届いたメッセージを松橋事務局局長が代読した後、市塚副会長より石井・中島両相談役に感謝状並びに記念品が贈られた。はにかみとも緊張とも付かぬ二人のお姿が残像として心に残る。

言わば、連盟発祥の地とでも言うべき越谷市合気道連盟の瀬尾裕次氏の乾杯により、直会開始。間もなく、参加13団体の代表より功労者お二人への感謝の意、及び半年間の各団体の活動報告がなされた。

まさに、衆目に値したのは金のフィナーレ、功労者が語る県連秘話。司会者の判断で、団体挨拶半ばで登場願った中島相談役、「うーむ、大体ワタシにね、連盟の副会長やれって言うんですから、ひでーもんですよ。それも1・2年だと思ってたら、10何年だかね。騙されたようなもんだね。プハッ。」場内、万雷の拍手と爆笑の渦。しかし、チクリと男の生き様見え隠れ。

いよいよ、真打ち登場の雰囲気の中で石井相談役登場。サングラスの奥の双眸から、鋭い光を発しながらであった。「心から、尊敬申し上げていた前道主からは是非埼玉県にしっかりした組織を創って欲しいと、直々のお話がありまして、意気に感じて最初、合気会所属の3団体で発足しました」その後の経緯、紙面では好評を博る凄みの有る話の連続。改めて県連の歴史の追体験を味わい、聞きいった次第。

盛会の祝賀会、入間幸武館・関戸章弘師範が締めくくり閉会となった。但し、宴会は延々と。

祝電

第19回埼玉県連定期総会並びに平成12年度「武道優良団体」授賞記念祝賀会のご盛会と心お慶び申し上げます。

早刻から今日に至る関係各位のご貢献に感謝を表しますとともに、御参会の皆様方の御健にお祈り申し上げます。

埼玉県知事 土屋 義彦

## 新・シリーズ(1)

### 「我が支部・道場の師範はこんな人」

合気道 和光支部 永井 亜希子

—— 一見、センセ野蛮なようですが？

「猛虎」、和光支部師範・川路昌治にあだ名を付けるとすれば、この名称がピッタリ当てはまると思うのです。70畳の道場も狭しと、あちこちで支部員を畳に叩きつけたり、振り回している姿は、ただただ恐ろしいの一言。加えて、並はずれた体力(人間を超越)を備えているので、誰もトラの暴走を止めることはできません。私が入門してから早4年。当初、師範とはほとんど話しをすることもなく、射すくめるような眼差しに圧倒されてしまい、近寄るところではありませんでした。時々出る「オヤジ・ギャグ」にも、ただ顔をひきつらせているばかりでした…。

しかし、不思議なことに私以外の支部員達は、あの眼力にも怯むことなく、自虐的(文句があるなら掛かって来い)ギャグにも絶妙なタイミングでつつこみを入れているではありませんか(特に松橋氏)。

このような光景を眼にしている内に、段々と師範の人柄や和光支部の雰囲気分かるようになってきました。我が師範、川路昌治は見た目は粗暴で野獣のようですが、人の好いところを引っ張りだし、厳しさと優しさを兼ね備えた、すばらしい師範です(時々、出るオヤジギャグがまた好い味をだしています)

和光支部の男女を問わず、「気はやさしくて力持ち」、この雰囲気は、偏に川路師範が作り出しているものに違いない。誰に対しても分け隔てなく接してくれる姿勢。和光支部には、高段者・白帯・ベテラン・初心者と言う壁が全くありません。

このような師範だからこそ、和光支部に集う一筋縄では行かぬ、多種多様な、お歴々を包み込んでいるのであります。唯、心配なことが一つ。無類のお酒好き、癖のことです。

— ある日、稽古の後で

「ナ・ガ・イ最近少しふとったな」

師範、唐突に嘔く。

「エ・エエ、幸せ太りですかね！」(嫁に行きました)

さらに、師範がたたみこむ。

「そうじゃない、合気道…、食べ物が旨い筈」

「休まないから、エライですよ。ナガイ」

「はーん」とセンセイ。

「センセイも、お酒減らすと痩せるじゃないんですか」 一瞬の間、何か失礼でも？

「アリ・ガト」としてやったり、でした。

合気道 自然館 望月 良夫

—— 棍棒のごとき、飯尾師範

御年76歳にして矍鑠、と言う表現では飯尾師範にはいささか物足りません。何故なら腕は棍棒のごとき、豪快なる技は、未だ豪腕の若者を寄せ付けないからです。

自然館にお世話になって早10年。年少時より道場に通い始めた息子達は二人も成長し、今では大人に混じっての稽古に汗を流す年頃となりました。その息子達が、稽古が終わって必ず話題にするのが飯尾師範のことです。「今日は、こうだった。こんなことを教わった」と少々興奮気味に語ります。

稽古を通して、ここでしか伝わらない「気概」を敏感に感じ取っているのかもしれない。

「合気道の体捌きは決して退かない、どんな時にも前に出るのだ！」と飯尾師範は常々言われます。また、折に触れ「先ずは稽古場に通うまでが稽古だ」と、怠け者には耳の痛い忠告を自ら体現し、実践してくださっています。

嘗ては、旧海軍で実践的訓練を重ねられていたこともあってか、飯尾師範は前館長の時代から、もっぱら剛の役割を担ってこられ、今も遺志を継がれた現館長を盛り立てておられます。また、永年の功勞で叙勲までされた方ですが、そのような素振りは見せません。剛のイメージばかりが重なる飯尾師範。

ですが、ひとたび懇親会などで、その人柄に触れた折には、幾多の艱難辛苦を乗り越えてこられた者だけが持つ、剛の中に秘められた真の優しさを窺い知ることができます。

合気道とは、柔と剛が相まってこそ、武道です。技に秀でることはもとより、それ以上に精神の鍛錬が重要視されるからこそ、動く禅とも称される所以です。

願わくば、その仁王のごとき立ち姿で、これからも実践合気道の先達として、我々未熟者を導き続けていただきたいと、切に願って止みません。



去る4月15日(日)、桶川市総合体育館サンアリーナ武道場に於いて、第16回連盟主催少年練成会が開催された。参加は11団体173名。

全体練成の準備運動は桶川愛気会・谷口洋三氏、続いて基本練成を加藤章一郎会長が担当。キビキビとした谷口氏の指示に従い行動する子供達、また、基本技を優しく手ほどきする加藤会長の練成は、淡々と静かに進行された。

少年練成会・雑感

—— 桶川愛気会・待島峰喜

埼玉県合気道連盟主催の第16回少年練成会は、4月15日(日)桶川市総合体育館サンアリーナ武道場にて行われた。

県内の11団体、少年少女等173名が参加し、盛大な練成会となった。

合気道桶川愛気会・谷口指導員による、173名の馬飛びを交えた準備運動で練成会が始まった。続いて当会・加藤会長の指導により、基本練成、一教・入り身・四方投げを参加者全員で行った後、各団体による日頃の稽古の成果ともいうべき演武を披露した。

会の最後に、川路理事長より、「長い時間、他の道場の演武を真剣に見ていた」ことにお褒めの言葉を頂き、2時間に亘る練成会が無事終了した。

新緑の真っ只中、県下11団体の子供達が、和気藹々共に汗を流し、交流が出来たことに練成会の意義を改めて認識しました。



1. 常任理事会(3月5日:和光市「養老の滝」)

市塚副会長・川路理事長・松橋事務局長以下他常任理事を含め10名参加。定期総会向け議事の検討・理事会日程等、今年度の連盟運営基本方針が審議された。

2. 理事会(4月15日:桶川市総合体育館会議室)

少年練成会終了後、18名の参加を得て第19回合同講習会の綿密な打ち合わせ並びに今年度総会に向けての日程・常任理事会提案の報告・連絡・検討事項の全てが審議され、全会一致の内容を総会に諮ることが決定。

3. 第19回定期総会(6月3日:埼玉会館)

I. 平成12年度事業・決算報告

松橋事務局長より事業報告、向笠理事から決算報告。三輪監事(志木合気会)の監査報告があり、全会一致で承認。

II. 平成13年度事業計画・予算案

松橋事務局長より事業計画について、報告があった。その中で、オーストラリア合宿を予定しているA&P石垣道場、また、今年30周年記念演武会を実施する浦和合気会(9月9日)・合気道和光支部(12月2日:道主御臨席)について、注目したい旨の発言有り。向笠理事より、今年度予算案の提出があったが、これも全会一致で、承認・可決。

III. 平成13年度・第16回少年部練成会報告。

11団体173名参加の下、無事終了。

IV. 狭山市合気道教室・役員交替について

新理事:日向 裕司氏  
新評議員:梅沢 正広氏

さわやかに



いきたい